

SNOWFALL

プレスリリース 2016年10月6日

ムーミンのモバイルゲーム会社が百万ユーロ資金調達

アジアはムーミンのモバイルゲームにとって一大市場

Snowfallは、様々なムーミンのモバイルゲームを開発して世界中の人々をつなぐことを目的とするフィンランド、トゥルク市のスタートアップ企業だ。

Snowfallはフィンランドの投資家たちから百万ユーロを集めた。今回の資金調達は、トゥルクのゲーム会社が1回目の資金調達ラウンドで調達した資金としては過去最大規模である。同社は、今回の調達金額は公的融資によってさらに増加するという。

同社の投資者には発明家の Göran Sundholmや、Kaj Paasikivi、Pasi Kivimäki、Mikko Silventola、Jari Talvinen、Keskisuomalainen Oyj、Borg Capital、Pekka Salo、Ville Sistonen、Ilkka Niiranen、Lasse Ilvessalo、そしてLari Lunkkaなど合計で25の著名な人物や団体が名を連ねている。今回の資金調達ラウンドは、Frontierのシンガポールチームを担当しているSnowfallのアドバイザーたちが主導した。Snowfallの目的は、Frontierとともにシンガポールからアジアや日本市場に参入し、世界のマーケットへと社をあげて事業を拡大していくことだ。

「ムーミンは家族ぐるみでみなさんによく知られているグローバルなブランドだ。今のところ、ムーミンのゲームを専門とするゲーム会社を立ち上げた人はいない。ここに明白なマーケットのニッチを見出した」とPetri Elovaara CEOは会社設立の背景を説明する。

「Moomin Charactersは、我々のブランドに適したモバイルゲームを制作することに特化するパートナーを得たことを喜ばしく思っており、全力で支援したい。モバイルゲームの分野には大きな成長可能性を見ており、我々には会社をあげてSnowfallをサポートする用意がある！」とMoomin CharactersのRoleff Kråkström CEOは述べる。

Snowfallはムーミンのゲームをとおして、ムーミンの価値観や世界観を共有し、あらゆる年齢のゲーマーをつなげたいと考えている。

「我々はムーミンのブランドに込められた、家庭的なスキルや価値観を大事にしている。我々はみなさんとともに、ゲームの世界を通じてムーミンたちの物語をつなげていきたいと思っている」とElovaaraは総括する。

ムーミンのモバイルゲームの成功は期待をはるかに上回るものだった

Snowfallは主要株主であるPetri Elovaara、Harry Lockmer、そしてフィンランドのブランドショップであるFBS Oyjの協力によって立ち上げられた。2014年の年末に、彼ら起業家たちはムーミンをテーマにしたモバイルゲームを、強い国内ブランドを活かして、市場に投入することを決めた。当時のJam Run Adventurers、現在のSnowfall Oyjは、トゥルク発のスタートアップ企業としてすぐさま多くのサポーターを獲得した。

SNOWFALL

世界最大のムーミンのゲーム会社

Snowfallの製作者たちは、ゲーム分野におけるハングリーな若き才能たちであり、そこに国際ビジネスのエキスパートが加わっている。Elovaaraによると、同社はムーミンたちのソフトバリューとトップクラスのゲームテクノロジーを組み合わせたいと考えている。

「ゲームの形態を問わず、我々はゲーム分野における先端技術を駆使してムーミンをテーマとしたゲームを制作する予定だ」とElovaaraは述べる。

将来的に、Snowfallはあらゆる年齢層に対してムーミンをテーマとしたモバイルゲームを開発することを計画しており、これによって世界中の家族や人々をつなげたいとしている。ムーミンブランドは特にアジアで人気だ。

「我々はみなさまから受け取った支援に感謝している。そして、常に新しい投資家や企業パートナーを求めている。我々の目標はムーミンのモバイルゲームに特化する最も大きな会社になることだ」とElovaaraはSnowfallの将来について語る。

詳細と写真：

Petri Elovaara
CEO
Snowfall Ltd.
+358 45 111 4484
petri@snowfall.fi